

注3

大学番号：私083

[平成28年度設置]

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

白百合女子大学 人間総合学部

注2

【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人白百合学園

平成30年5月1日現在

目次

人間総合学部

<児童文化学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	17
5. 教員組織の状況	19
6. 留意事項等に対する履行状況等	39
7. その他全般的事項	41

<発達心理学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	45
2. 授業科目の概要	49
3. 施設・設備の整備状況、経費	59
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	61
5. 教員組織の状況	63
6. 留意事項等に対する履行状況等	83
7. その他全般的事項	85

<初等教育学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	89
2. 授業科目の概要	93
3. 施設・設備の整備状況、経費	105
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	107
5. 教員組織の状況	109
6. 留意事項等に対する履行状況等	130
7. その他全般的事項	132

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人白百合学園

(2) 大学名

白百合女子大学

(3) 大学の位置

〒182-8525
東京都調布市緑ヶ丘1丁目25番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(シキイ クミコ) 式井 久美子 (平成13年4月)		
学長	(ヤマノウチ コウタロウ) 山内 宏太郎 (平成19年4月)	(タバタ クニハル) 田畑 邦治 (平成28年4月)	任期満了により変更(28)
学部長	(ミヤシタ タカヒロ) 宮下 孝広 (平成28年4月)		
学科長等	(シライ スミコ) 白井 澄子 (平成28年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人間総合学部 児童文化学科 学士(児童文化)	文学関係	4年	50人	- 年次人	200人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 () []	人 () []	50人 (-) [-]	人 () []	50人 (-) [-]	人 () []	50人 (-) [-]	人 () []	1.18倍	
志願者数	() []	() []	218 (-) [-]	- (-) [-]	215 (-) [-]	- (-) [-]	292 (3) [-]	- (-) [-]		
受験者数	() []	() []	214 (-) [-]	- (-) [-]	206 (-) [-]	- (-) [-]	285 (3) [-]	- (-) [-]		
合格者数	() []	() []	135 (-) [-]	- (-) [-]	128 (-) [-]	- (-) [-]	105 (2) [-]	- (-) [-]		
B 入学者数	() []	() []	68 (-) [-]	- (-) [-]	58 (-) [-]	- (-) [-]	52 (2) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A			1.36			1.16				

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	68 [-] (-)	- [-] (-)	59 [-] (1)	- [-] ()	52 [-] ()	- [-] ()	30年度3年次編入2名
2年次	/		[] ()	[] ()	66 [-] (-)	- [-] (-)	59 [-] (2)	- [-] (-)	
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次	/				/		[] ()	[] ()	
計			[] ()	[] (-)			68 [-] (-)	125 [-] (1)	

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	- 人	- 人	平成27年度	- 人	- 人	
平成28年度	68 人	1 人	平成27年度	- 人	- 人	他の教育機関への入学(1人)
			平成28年度	1 人	0 人	
平成29年度	125 人	1 人	平成27年度	- 人	- 人	その他(1人)
			平成28年度	0 人	0 人	
			平成29年度	1 人	0 人	
平成30年度	178 人	0 人	平成27年度	- 人	- 人	
			平成28年度	0 人	0 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
合計	371 人	2 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{68} = \boxed{1.47} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{125} = \boxed{0.8} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{178} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
	児童文化入門A	1前後	2			1					
	児童文化入門B	1前後	2			1					
	児童文学史・英語圏 I	2前	2			1					
	児童文学史・英語圏 II	2後	2			1					
	卒業論文	4通	8			6		1			
	キャリア研究	2前	2			1					
	基礎演習A	2前	2			1		1	1		兼2
	基礎演習B	2後	2			1		1	1		兼2
	演習	3通	4			5		1			
選択A	日本児童文学研究A	1-2-3前		2							兼1
	日本児童文学研究B	1-2-3後		2							兼1
	英米児童文学研究A	1-2-3前		2							兼1
	英米児童文学研究B	1-2-3後		2							兼1
	伝承文学研究	1-2-3後		2		1					
	創作文化研究 I	1-2-3前		2				1			
	創作文化研究 II	1-2-3後		2				1			
	キャラクター文化研究	1-2-3後		2							兼1
	ストーリーテリング研究 I	1-2-3前		2							兼1
	ストーリーテリング研究 II	1-2-3後		2							兼1
	ストーリーテリング研究 III	1-2-3前		2							兼1
	わらべうた研究	1-2-3前		2							兼1
	マザーグース研究	1-2-3後		2							兼1
	絵本制作研究 I	1-2-3前		2							兼1
	絵本制作研究 II	1-2-3後		2							兼1
	編集研究	1-2-3前		2							兼1
	出版演習 I	1-2-3前		2							兼1
	出版演習 II	1-2-3後		2							兼1
	アニメーション制作 I	1-2-3前		2				1			
	アニメーション制作 II	1-2-3後		2				1			
選択B	児童文学・日本A	1-2-3-4前		2							兼1
	児童文学・日本B	1-2-3-4後		2							兼1
	児童文学・日本C	1-2-3-4前		2							兼1
	児童文学・日本D	1-2-3-4後		2							兼1
	児童文学・ドイツA	1-2-3-4後		2		1					
	児童文学・ドイツB	1-2-3-4前		2							兼1
	児童文学・イギリスA	1-2-3-4前		2					1		
	児童文学・イギリスB	1-2-3-4後		2							兼1
	児童文学・フランスA	1-2-3-4前		2							兼1
	児童文学・フランスB	1-2-3-4後		2							兼1
	児童文学・アメリカA	1-2-3-4前		2							兼1
	児童文学・アメリカB	1-2-3-4後		2							兼1
	児童文学・カナダ	1-2-3-4前		2		1					
	児童文学・北欧	1-2-3-4後		2							兼1
	児童文学・韓国	1-2-3-4後		2							兼1
	児童文学・YA文学	1-2-3-4後		2		1					
	おもちゃ論A	1-2-3-4前		2		1					
	おもちゃ論B	1-2-3-4後		2		1					
	キャラクター論	1-2-3-4前		2							兼1
	マンガ論	1-2-3-4後		2							兼1
	アニメ論	1-2-3-4前		2							兼1
	絵本論	1-2-3-4後		2							兼1
	創作演習A I	1-2-3-4前		2							兼1
	創作演習A II	1-2-3-4後		2							兼1
	創作演習B I	1-2-3-4前		2							兼1
	創作演習B II	1-2-3-4後		2							兼1
	翻訳演習 I	1-2-3-4前		2							兼1
	翻訳演習 II	1-2-3-4後		2							兼1
	伝承文学	2-3-4前		2		1					
	SFファンタジー I	2-3-4前		2							兼1
	SFファンタジー II	2-3-4後		2							兼1
	ネオ・ファンタジー I	2-3-4前		2		1					
	ネオ・ファンタジー II	2-3-4後		2		1					
	児童文化・紙芝居	2-3-4前		2		1					
	児童文化・民俗と子ども	2-3-4後		2							兼1
	児童文化・子ども社会学	2-3-4前		2							兼1
	児童文化・子ども論	2-3-4後		2							兼1
	絵本演習 I	2-3-4前		2				1			
	絵本演習 II	2-3-4後		2				1			
	絵本制作 I	2-3-4前		2							兼1
	絵本制作 II	2-3-4後		2							兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
必修 I	基礎演習B	2後	2			2		1	1		兼2
選択必修 II	演習	3通	4			6		1			
選択 A	日本児童文学研究A	1-2-3前	2								兼1
	日本児童文学研究B	1-2-3後	2								兼1
	英米児童文学研究A	1-2-3前	2								兼1
	英米児童文学研究B	1-2-3後	2								兼1
	伝承文学研究	1-2-3後	2			1					
	創作文化研究 I	1-2-3前	2					1			
	創作文化研究 II	1-2-3後	2					1			
	キャラクター文化研究	1-2-3後	2								兼1
	ストーリーテリング研究 I	1-2-3前	2								兼1
	ストーリーテリング研究 II	1-2-3後	2								兼1
	ストーリーテリング研究 III	1-2-3前	2								兼1
	わらべうた研究	1-2-3前	2								兼1
	マザーグース研究	1-2-3後	2								兼1
	絵本制作研究 I	1-2-3前	2								兼1
	絵本制作研究 II	1-2-3後	2								兼1
	編集研究	1-2-3前	2								兼1
	出版演習 I	1-2-3前	2								兼1
	出版演習 II	1-2-3後	2								兼1
	アニメーション制作 I	1-2-3前	2					1			
	アニメーション制作 II	1-2-3後	2					1			
選択 B	児童文学・日本A	1-2-3-4前	2								兼1
	児童文学・日本B	1-2-3-4後	2								兼1
	児童文学・日本C	1-2-3-4前	2								兼1
	児童文学・日本D	1-2-3-4後	2								兼1
	児童文学・ドイツA	1-2-3-4前	2			1					
	児童文学・ドイツB	1-2-3-4後	2								兼1
	児童文学・イギリスA	1-2-3-4前	2						1		
	児童文学・イギリスB	1-2-3-4後	2								兼1
	児童文学・フランスA	1-2-3-4前	2								兼1
	児童文学・フランスB	1-2-3-4後	2								兼1
	児童文学・アメリカA	1-2-3-4前	2								兼1
	児童文学・アメリカB	1-2-3-4後	2								兼1
	児童文学・カナダ	1-2-3-4前	2			1					
	児童文学・北欧	1-2-3-4前	2								兼1
	児童文学・韓国	1-2-3-4後	2								兼1
	児童文学・YA文学	1-2-3-4前	2			1					
	おもちゃ論A	1-2-3-4前	2			1					
	おもちゃ論B	1-2-3-4後	2			1					
	キャラクター論	1-2-3-4前	2								兼1
	マンガ論	1-2-3-4後	2								兼1
	アニメ論	1-2-3-4前	2								兼1
	絵本論	1-2-3-4後	2								兼1
	創作演習A I	1-2-3-4前	2								兼1
	創作演習A II	1-2-3-4後	2								兼1
	創作演習B I	1-2-3-4前	2								兼1
	創作演習B II	1-2-3-4後	2								兼1
	翻訳演習 I	1-2-3-4前	2								兼1
	翻訳演習 II	1-2-3-4後	2								兼1
	伝承文学	2-3-4前	2			1					
	SFファンタジー I	2-3-4前	2								兼1
SFファンタジー II	2-3-4後	2								兼1	
ネオ・ファンタジー I	2-3-4前	2			1						
ネオ・ファンタジー II	2-3-4後	2			1						
児童文化・紙芝居	2-3-4前	2			1						
児童文化・民俗と子ども	2-3-4後	2								兼1	
児童文化・子ども社会学	2-3-4前	2								兼1	
児童文化・子ども論	2-3-4後	2								兼1	
絵本演習 I	2-3-4前	2					1				
絵本演習 II	2-3-4後	2					1				
絵本制作 I	2-3-4前	2								兼1	
絵本制作 II	2-3-4後	2								兼1	

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成28年度】

- ・カリキュラム編成上の理由により「現代思想Ⅰ」、「コミュニケーションのための日本語」、「法とは何か」、「犯罪学概論」、「社会活動におけるマネジメントB」、「教養としての日本語」、「美しい日本語を話す（基礎）」、「美しい日本語を話す（実践）」、「食農フィールド演習」の配当年次を変更。
- ・学長交代に伴い「住居と人間」を追加。

【平成29年度】

- ・通年科目の半期化のため「キリスト教Ⅰ・Ⅱ」を「キリスト教ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB」に、「宗教学Ⅰ・Ⅱ」を「宗教学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」に、「哲学」を「哲学Ⅰ・Ⅱ」に、「美術史」を「美術史Ⅰ・Ⅱ」に分割して配当年次を変更。
- ・カリキュラム編成上の理由により「中国語（中級）」を「中国語（中級）A・B」に、「韓国語（中級）」を「韓国語（中級）A・B」に科目を分割。
- ・教育の充実を図るため「宗教学ⅠA、ⅠM、ⅠO、ⅠU、ⅠV、ⅠW」、「祈りと女性演習A・B」、「家族社会学」、「ワークライフ論」、「女性と文学」、「女性と人権」、「はじめての心理学」、「環境心理学」、「コミュニティ心理学」を追加。
- ・カリキュラム編成上の理由により「教養としての日本語」、「美しい日本語を話す（基礎）」、「国際協力論B」、「メディア・デザインスキルA」、「教養総合セミナーA」、「数と形の世界A」、「数と形の世界B」の配当年次を変更。
- ・単位数の見直しに伴い「ボランティア・キャリア体験」を4単位から2単位に変更。

【平成30年度】

- ・「神話学入門Ⅰ・Ⅱ」を「文化人類学Ⅰ・Ⅱ」に、「日本の外交と社会史」を「日本史概説Ⅰ・Ⅱ」に、「コミュニティ心理学」を「コミュニティの心理学」に、「教養総合セミナーA」を「ジェンダー基礎論」に、「教養総合セミナーD」を「歴史の中の音楽」に名称変更。
- ・「身体運動科学」を「身体運動の科学」に変更し、4単位から3単位に変更。
- ・「教養総合セミナーC・E」を統合して「サウンドスケイプ演習」に変更。
- ・石井直人教授研究期間中のため「児童文学史・日本Ⅰ・Ⅱ」の教員配置を「教授1」から「兼1」に、「基礎演習A・B」の「教授2」を「教授1」に、「演習」の「教授6」を「教授5」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
23 科目	210 科目	0 科目	233 科目	28 科目 [5]	287 科目 [77]	0 科目 [0]	315 科目 [82]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	ルカ福音書講読演習A	2	2・3・4前	一般	選択	担当者学長就任、後任未定のため未開講、代替措置なし。
2	ルカ福音書講読演習B	2	2・3・4後	一般	選択	担当者学長就任、後任未定のため未開講、代替措置なし。
3	女性と社会A	4	1・2・3・4通	一般	選択	科目新設に伴う科目調整のため未開講。代替措置なし。
4	社会福祉と私たち	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当者未定。代替措置なし。
5	児童と家庭の福祉	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当者の担当コマ数上限を超えるため未開講、代替措置なし。
6	住居と人間	4	1・2・3・4通	一般	選択	担当者の担当コマ数上限を超えるため未開講、代替措置なし。
7	食農フィールド演習	4	1・2・3・4通	一般	選択	担当者の担当コマ数上限を超えるため未開講、代替措置なし。
8	教養総合セミナーB	2	1・2・3・4前後	一般	選択	担当者の担当コマ数上限を超えるため未開講、代替措置なし。
9	教養総合セミナーD	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当者未定。代替措置なし。
10	教養総合セミナーE	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当者の担当コマ数上限を超えるため未開講、代替措置なし。
11	教養総合セミナーF	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当者の担当コマ数上限を超えるため未開講、代替措置なし。
12	男女共同参画と政策	4	1・2・3・4通	一般	選択	担当者未定。代替措置なし。
13	子どもの権利と国際社会	4	1・2・3・4通	一般	選択	担当者未定。代替措置なし。
14	環境心理学	4	2・3・4通	一般	選択	担当者の担当コマ数上限を超えるため未開講、代替措置なし。
15	英講読文法A	2	1通	一般	必修	外国語科目見直しのため未開講。「総合英語」で代替。
16	上級総合英語Ⅰ	1	3・4前	一般	選択	外国語科目見直しのため未開講。「上級英語コミュニケーションⅠ」(選択)で代替。
17	上級総合英語Ⅱ	1	3・4後	一般	選択	外国語科目見直しのため未開講。「上級英語コミュニケーションⅠ」(選択)で代替。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

一般教養科目については選択科目であり、他に多くの一般教養科目が設置されていることから、学生の履修については他の科目で補うことができる。「英講読文法A」は外国語必修科目「総合英語Ⅰ/Ⅱ」に対する英語未修者用科目であるが、「総合英語」で未修者対応が可能であることから未開講としている。「上級総合英語Ⅰ・Ⅱ」は、近年における当該科目履修者数の減少を考慮し、当面は同レベルの「上級英語コミュニケーション」のみで学生からの需要に応えるには充分であると判断した。学生には履修要覧に記載することで周知した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{17}{233} = \boxed{7.29} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	43,077㎡	0㎡	0㎡	43,077㎡			
	運動場用地	10,943㎡	0㎡	0㎡	10,943㎡			
	小 計	54,020㎡	0㎡	0㎡	54,020㎡			
	そ の 他	1,270㎡	0㎡	0㎡	1,270㎡			
	合 計	55,290㎡	0㎡	0㎡	55,290㎡			
(2) 校舎	専 用	28,212㎡	0㎡	0㎡	28,212㎡			
	(28,212㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(28,212㎡)			
(3) 教室等	講義室		演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体	
	38室 39室		19室 15室	8室 10室	4室 (補助職員 2人)	3室 (補助職員 0人)	授業の開講数の適正化により室数の変更(30)	
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	人間総合学部			29 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	大学全体での共用分 図書 322,151 [109,025] (296,364 [110,431]) (292,306 [109,223]) (291,013 [105,719]) (296,036 [105,301]) 学術雑誌 5,756 [918] (4,405 [937]) (4,386 [934]) (4,457 [952]) (4,278 [894]) 洋雑誌費高騰の影響による(30) 廃刊あるいは洋雑誌費高騰による中止などのため(29) 洋雑誌費高騰により図書の購入に影響が出たため(28)
		[うち外国書] 冊	[うち外国書] 種	電子ジャーナル [うち外国書]				
	人間総合学部	34,704 [7,914] (25,689 [7,548]) (23,132 [6,740]) (22,115 [6,597]) (23,644 [6,666])	171 [63] (166 [56]) (159 [57]) (154 [54]) (123 [39])	46 [36] (31 [21]) (30 [20])	780 (148) (140) (113) (156)	91 (76)	0 (0)	
	計	34,704 [7,914] (25,689 [7,548]) (23,132 [6,740]) (23,644 [6,666])	171 [63] (166 [56]) (159 [57]) (154 [54]) (123 [39])	46 [36] (31 [21]) (30 [20])	780 (148) (140) (156)	91 (76)	0 (0)	
(6) 図書館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	3,769㎡		232 217		320,556		館内再配置を行った事により若干増(30)	
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	1,547㎡		テニスコート3面					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コストを含む)を含む。 実績に基づき設備購入費を変更(30) 28に停止した共同研究の当初予定が見込まれ共同研究費を変更(30) 実績に基づき設備購入費を変更(29) 予定していた共同研究が停止したため共同研究費を変更(28) 2015年度実績に基づき図書購入費を変更(28) 見込んでいた工事が完了したため設備購入費を変更(28)
		教員1人当たり研究費等	400千円	400千円	図書購入費	18,000千円 21,000千円	21,000千円 28,000千円	
	共同研究費等	3,900千円 3,000千円 4,000千円	3,900千円 3,000千円 4,000千円	設備購入費	34,600千円 37,000千円	4,126千円 8,450千円 10,000千円 24,000千円	4,500千円 8,450千円 10,000千円 24,000千円	
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,450千円	1,100千円	1,100千円	1,100千円	-	-	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常費補助金、資金運用収入、寄付金、雑収入等						

(注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学 の 名 称	白百合女子大学								備 考
既設学部等の名称	修業年限	入 学 員 定 員	編入学員定員	収 容 員 定 員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
文学部									
国語国文学科	4	100	-	400	学士 (文学)	1.14	昭和40年度	同上	
フランス語フランス文学科	4	100	-	400	学士 (文学)	1.22	昭和40年度	同上	
英語英文学科	4	100	-	400	学士 (文学)	1.15	昭和40年度	同上	
児童文化学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	昭和60年度	同上	平成28年より学生募集停止
人間総合学部									
児童文化学科	4	50	-	150	学士 (児童文化学)	1.18	平成28年度	東京都調布市緑ヶ丘1丁目25番地	
発達心理学科	4	50	-	150	学士 (心理学)	1.25	平成28年度	同上	
初等教育学科	4	75	-	225	学士 (教育学)	1.01	平成28年度	同上	
文学研究科									
修士課程・博士課程（前期）									
発達心理学専攻	2	10	-	20	修士 (心理学)	0.75	平成2年度	同上	
児童文学専攻	2	6	-	12	修士 (文学)	0.83	平成2年度	同上	
国語国文学専攻	2	6	-	12	修士 (文学)	0.49	平成6年度	同上	
フランス語フランス文学専攻	2	6	-	12	修士 (文学)	0.49	平成6年度	同上	
英語英文学専攻	2	6	-	12	修士 (文学)	0.08	平成7年度	同上	
博士課程（後期）									
発達心理学専攻	3	4	-	12	博士 (心理学)	0.33	平成4年度	同上	
児童文学専攻	3	3	-	9	博士 (文学)	0.55	平成7年度	同上	
言語・文学専攻	3	5	-	15	博士 (文学)	0.20	平成9年度	同上	
大学 の 名 称	仙台白百合女子大学								備 考
既設学部等の名称	修業年限	入 学 員 定 員	編入学員定員	収 容 員 定 員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人間学部									
人間発達学科 子ども発達専攻	4	90	0	360	学士 (人間科学)	0.65	平成8年度	宮城県仙台市泉区本田町6番1号	
心理福祉学科	4	70	0	280	学士 (人間科学)	0.60	平成25年度	同上	

健康栄養学科 管理栄養専攻	4	80	0	320	学士 (人間科 学)	0.93	平成14年度	同上
グローバル・ スタディーズ学科	4	60	0	240	学士 (人間科 学)	0.92	平成25年度	同上

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5. 教育職員の状況

個人情報を含む内容のため、省略します。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画		
設 置 時 (28年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 (発達心理学科)	留意事項	教員組織の年齢構成を適正なものにすべく、将来構想について検討を始めた。	未履行	定年及び定年を超える教員の後任人事について、28年度及び29年度にかけて検討を行う。
設置計画履行状況 調 査 時 (29年2月)	人間総合学部児童文化学科の入学定員超過の改善に努めること。	改善意見	昨年の状況をふまえ、今年度は合格者数を抑えたため、適正な入学者数になった。	履行済	
	人間総合学部発達心理学科において、定年規程が定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見	定年規程の趣旨を踏まえつつ教員組織の年齢構成を適切なものにすることを具体的に検討している。	未履行	定年及び定年を超える教員の後任人事について検討を継続するとともに、今年度末に退職予定の1名の後任人事を、改善意見を踏まえて実施する予定である。
	同一設置者が設置する既設学部等（仙台白百合女子大学人間学部人間発達学科、心理福祉学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	報告時の平均入学定員超過率の数値に誤りがあった（単年度の数値を記載）。実際には人間発達学科は0.86倍、心理福祉学科は0.74倍となる。	履行済	
設置計画履行状況 調 査 時 (30年2月)	同一設置者が設置する既設学部等（仙台白百合女子大学人間学部心理福祉学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見		未履行	入学定員を見直し、70名から65名に削減する。また、特に低迷している推薦入試への挺入れとして、指定校枠の大幅見直しとその周知のための高校向けの広報活動の強化を行う。加えて、年々着実な改善が見られる福祉系資格（介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士）の国家試験合格率のさらなる向上や、新資格（公認心理師）の導入により、教育内容のさらなる充実を図り、その取り組みと成果を学外に発信する予定である。

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<人間総合学部 児童文化学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特記事項なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 FD推進委員会（添付：白百合女子大学FD推進委員会規程）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 委員会は月1回、年8～9回定期開催をする。全学的な委員会のため、教員は各学科等を代表する者が参加する。</p> <p>c 委員会の審議事項等 授業改善アンケートの改善と結果の活用について検討を行っている。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業改善のための学生アンケート/専任教員所見票回収/改善点検討 ・ 授業改善のための学生アンケート結果を活用した顕彰制度導入 ・ FDワークショップ ・ よりよい学びのための学生懇話会（学部・大学院）等 <p>b 実施方法 授業改善のための学生アンケートは開講期末（前期科目は前期末、通年科目と後期科目は後期末）に実施。またアンケートの結果を用いて、学生からの評価の高い授業への顕彰制度を2017年度より導入した。FDワークショップについては2017年6/1（木）に大学教育改革の動向に関する学習会と、学生の学びを深める取り組みに関する情報交換会を実施した。よりよい学びのための学生懇話会については学部と大学院を交互に隔年実施している。2017年度は大学院生を対象に授業改善のための学生アンケートをテーマに意見を聞いた。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） 授業改善のための学生アンケートは原則全科目対象としている。FDワークショップについては専任教員は必須参加とし、欠席者には後日ビデオ学習を求めた。100%の参加を達成した。</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 授業改善のための学生アンケートの実施目的のうち、カリキュラム改善のための材料を得ることについては取り組めていないのではないかという反省から、アンケートを改良する際には、現在教員個人にのみ通知されている集計結果を、部分的にでもカリキュラム改善のための材料として活用できるものにするための検討を行った。</p>
--

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

年2回（前期末・後期末）実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員および学生に対しては、全体のまとめと問題点を大学HP上にWEB公開している。
また教員には個別に結果を報告している。

（注）・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

新学科設置3年目にあたり、受験者数も過去3年を上回り順調であった。入学者数を定員（50名）に極力近づける努力をした結果、2018年度は52名という適正な人数を確保できた。オープンキャンパスでの説明会や在学生の科目紹介などが功を奏したといえる。

設置後、やむを得ない事情で教員が交代した科目はあるが、科目の運営は問題なく行われている。2018年度からは3年生の「演習」が開講され教員の指導の下、少人数クラスで各学生の興味を生かした学習・研究が始まった。4年生の卒業論文につながる事が期待できる。児童文化学科では1年生から多様な選択科目を履修できるため、学ぶ意欲が刺激されて面白い、との声も聞かれ、児童文化学科設置当初の目的が果たされているといえるだろう。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成30年8月1日 公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定（平成30年8月1日を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成38年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (有 無)

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (平成30年7月1日)

（注）・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

白百合女子大学FD推進委員会規程

(設置)

第1条 本学は、教授法や授業運営などの改善や教育活動にかかる知識・技能・能力の獲得または向上を組織的に支援するためにFD推進委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(任務)

第2条 委員会は、全学のファカルティ・ディベロップメント(以下「FD」という。)活動が持続的に実行されるよう、次に掲げる事項を行うとともに、各年度におけるFD活動の推進機能を併せもつものとする。

- (1) FD活動に向けた諸施策の企画・立案
- (2) FD活動実施の推進
- (3) FD活動の評価
- (4) FD活動に関する情報の収集と提供
- (5) その他、第1条に掲げる設置目的達成のために必要な事項

(構成)

第3条 委員会は、次に掲げる者で構成する。

- (1) 各学科および各教育センターより選出された教員各1名
- (2) 学長が委嘱する教員若干名
- (3) 学長が委嘱する職員若干名
 - 2 委員長は委員の中からの互選とする。
 - 3 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

(部会)

第4条 委員会は、第2条に掲げる事項に関し専門的作業を行うため、部会を置くことができる。

(事務)

第5条 委員会の事務は、教務部教務課が担当する。

(規程の改廃)

第6条 この規程の改廃は、教授会の議を経て、学長が行う。

附則 この規程は、2008年(平成20年)4月1日から施行する。
この規程は、2010年(平成22年)4月1日から施行する。
この規程は、2013年(平成25年)4月1日から施行する。
この規程は、2016年(平成28年)4月1日から施行する。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人白百合学園

(2) 大学名

白百合女子大学

(3) 大学の位置

〒182-8525
東京都調布市緑ヶ丘1丁目25番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(シキイ クミコ) 式井 久美子 (平成13年4月)		
学長	(ヤマノウチ コウタロウ) 山内 宏太郎 (平成19年4月)	(タバタ クニハル) 田畑 邦治 (平成28年4月)	任期満了により変更(28)
学部長	(ミヤシタ タカヒロ) 宮下 孝広 (平成28年4月)		
学科長等	(スズキ タダシ) 鈴木 忠 (平成28年4月)	(ハタノ エツコ) 秦野 悦子 (平成30年4月)	学科長交替により変更(30)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人間総合学部 発達心理学科 学士(心理学)	文学関係	年 4	人 50	年次 人 -	人 200	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 50 (-) [-]	人 () []	人 50 (-) [-]	人 () []	人 50 (-) [-]	人 () []	1.25倍	
志願者数	() []	() []	297 (-) [-]	- (-) [-]	273 (4) [-]	- (-) [-]	323 (-) [-]	- (-) [-]		
受験者数	() []	() []	282 (-) [-]	- (-) [-]	260 (3) [-]	- (-) [-]	305 (-) [-]	- (-) [-]		
合格者数	() []	() []	146 (-) [-]	- (-) [-]	125 (2) [-]	- (-) [-]	126 (-) [-]	- (-) [-]		
B 入学者数	() []	() []	62 (-) [-]	- (-) [-]	62 (2) [-]	- (-) [-]	64 (-) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A			1.24		1.23		1.28			

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	62 [-] (-)	- [-] (-)	62 [-] (-)	- [-] (-)	64 [-] (-)	- [-] (-)	29年度2年次編入2名
2年次	/		[] ()	[] ()	63 [-] (-)	0 [-] (-)	61 (1) (-)	- [-] (-)	
3年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	61 (-) (-)	- [-] (-)	
4年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計	[] ()	[] ()	62 [-] (-)	[] (-)	125 [-] (-)	[] (-)	186 [-] (1)	[] ()	

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	- 人	- 人	平成27年度	- 人	- 人	
平成28年度	62 人	1 人	平成27年度	- 人	- 人	
			平成28年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学(1人)
平成29年度	125 人	2 人	平成27年度	- 人	- 人	
			平成28年度	0 人	0 人	
			平成29年度	2 人	0 人	他の教育機関への入学(1人)、その他(1名)
平成30年度	186 人	0 人	平成27年度	- 人	- 人	
			平成28年度	0 人	0 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
合計	373 人	3 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{62} = \boxed{1.61} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{125} = \boxed{1.6} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{186} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

発達臨床心理学概論	2前	2		1					
心理学実験観察演習Ⅰ	2後	4		2	1	1			
心理学実験観察演習Ⅱ	2後	4		1	1	2			
心理統計学ⅠB	2前	2						兼1	
心理統計学Ⅱ	2後	2						兼1	
論文講読基礎演習	2前	2					3		
英語論文講読演習	2後	2						兼3	
キャリア研究	2後	2		2				兼1	
心理学研究法演習Ⅰ	3前	2		2	1				
心理学研究法演習Ⅱ	3後	2		2	1				
認知心理学	3・4前	2						兼1	
パーソナリティ心理学	3・4後	2						兼1	
社会心理学	3・4前	2						兼1	
臨床心理学	3・4後	2						兼1	
教育心理学	3・4後	2						兼1	
発達心理学特講A	3・4前	2						兼1	
発達心理学特講B	3・4後	2						兼1	
発達心理学特講C	3・4前	2						兼1	
発達心理学特講D	3・4後	2						兼1	
精神医学特講	3・4前	2		1					
発達障害特講	3・4後	2		1					
発達臨床心理学特講A	3・4前	2						兼1	
発達臨床心理学特講B	3・4後	2						兼1	
発達心理学演習A	3・4後	2		1					
発達心理学演習B	3・4後	2		1					
発達心理学演習C	3・4前	2		1					
発達心理学演習D	3・4前	2			1				
発達心理学演習E	3・4前	2						兼1	
発達心理学演習F	3・4後	2						兼1	
発達心理学演習G	3・4前	2						兼1	
発達心理学演習H	3・4後	2						兼2	
発達心理学演習I	3・4前	2						兼1	
発達心理学演習J	3・4後	2						兼1	
発達心理学演習K	3・4前	2						兼1	
発達心理学演習L	3・4後	2						兼1	
心理検査法A	3・4前	2		1					
心理検査法B	3・4後	2						兼1	
臨床心理学演習A	3・4前	2			1				
臨床心理学演習B	3・4後	2		1					
臨床心理学演習C	3・4後	2		1					
子ども観察	3・4前	2		1					
児童文化・民俗と子ども	3・4後	2						兼1	
児童文化・子ども社会学	3・4前	2						兼1	
児童文化・子ども論	3・4後	2						兼1	
卒業論文	4通	8		6	2				

社会福祉と私たち (未開講)	1・2・3・4前	2							
児童と家庭の福祉 (未開講)	1・2・3・4後	2							兼1
国際協力論A	1・2・3・4前	2							兼1
国際協力論B	1・2・3・4後	2							兼1
社会活動におけるマネジメントA	1・2・3・4前	2							兼1
社会活動におけるマネジメントB	1・2・3・4後	2							兼1
食農フィールド演習 (未開講)	1・2・3・4前	4							兼2
食と環境	1・2・3・4後	2							兼1
環境学のフロンティア	1・2・3・4前	2							兼1
観光文化論	1・2・3・4後	2							兼1
住居と人間(未開講)	1・2・3・4前	2							兼1
はじめての心理学	1・2・3・4後	4							兼1
環境心理学(未開講)	2・3・4通	4							兼1
コミュニティの心理学	2・3・4後	4							兼1
現代心理学概論	1・2・3・4通	4							兼1
パブリックリテラシー	1前	2							兼8
情報リテラシー	1後	2							兼8
ビジネス・コンピュータスキル	2・3・4通	4							兼1
メディア・デザインスキルA	2・3・4前	2							兼1
メディア・デザインスキルB	2・3・4後	2							兼1
アトリエ・リス・プラン・ワークショップ	2・3・4前	4							兼2
スポーツ・健康科学A	1・2・3・4前	2							兼1
スポーツ・健康科学B	1・2・3・4後	2							兼3
スポーツ・健康科学C	1・2・3・4通	2							兼3
身体運動の科学	1・2・3・4通	3							兼1
ジェンダー基礎論	1・2・3・4前	2							兼1
教養総合セミナーB (未開講)	1・2・3・4後	2							兼1
サウンドスケイプ演習	1・2・3・4通	4							兼1
歴史の中の音楽	1・2・3・4前	2							兼1
教養総合セミナーD (未開講)	1・2・3・4後	2							兼2
教養総合セミナーE (未開講)	1・2・3・4通	2							兼1
教養総合セミナーF (未開講)	1・2・3・4後	2							兼1
数と形の世界A	1・2・3・4前	2							兼1
数と形の世界B	1・2・3・4後	2							兼1
自然科学の世界A	1・2・3・4通	2							兼1
自然科学の世界B	1・2・3・4前	2							兼1
社会と倫理	1・2・3・4後	2							兼1
総合英語Ⅰ	1前	1							兼14
総合英語Ⅱ	1後	1							兼14
総合英語Ⅲ	2前	1							兼14
総合英語Ⅳ	2後	1							兼14
英語コミュニケーションⅠ	1前	1							兼14
英語コミュニケーションⅡ	1後	1							兼14
英語コミュニケーションⅢ	2前	1							兼14
英語コミュニケーションⅣ	2後	1							兼14
英語講義文法A (未開講)	1通	2							兼1
上級総合英語Ⅰ (未開講)	3・4前	1							兼1
上級総合英語Ⅱ (未開講)	3・4後	1							兼1
上級英語コミュニケーションⅠ	3・4前	1							兼2
上級英語コミュニケーションⅡ	3・4後	1							兼2
English for JFL TeachersⅠ	3通	2							兼1
English for JFL TeachersⅡ	4通	2							兼1
初級フランス語	2・3・4通	2							兼1
フランス語入門	1・2・3・4前	2							兼1
フランス語Ⅰ (文法・講読)	1通	2							兼3
フランス語Ⅱ (文法・講読)	2通	2							兼3
フランス語Ⅰ (会話)	1通	2							兼3
フランス語Ⅱ (会話)	2通	2							兼3
ドイツ語ⅠA	1通	2							兼2
ドイツ語ⅡA	2通	2							兼2
ドイツ語ⅠB	1通	2							兼2
ドイツ語ⅡB	2通	2							兼2
中国語(初級)	1・2・3・4通	4							兼1
中国語(中級)A	2・3・4通	2							兼1
中国語(中級)B	2・3・4後	2							兼1
韓国語(初級)	1・2・3・4通	4							兼1
韓国語(中級)A	2・3・4通	2							兼1
韓国語(中級)B	2・3・4後	2							兼1
子どものイメージ	1前	2							兼1
子どもとファンタジー	1後	2							兼1
子育て支援論	1前	2		1					
発達と文化	1後	2		1					
学校と発達	1前	2							兼1
家庭の教育・地域の教育	1後	2							兼1
心理学概論A	1前	2		1					
心理学概論B	1後	2		1					
発達心理学基礎演習A	1前	2		1	1				
発達心理学基礎演習B	1後	2		1	1				
心理学統計法ⅠA	1後	2							兼1
臨床心理学概論	1後	2		1					
発達心理学概論A	2前	2			1				
発達心理学概論B	2後	2		1					
発達臨床心理学概論	2前	2		1					
心理学実験Ⅰ	2前	4		2	1			1	
心理学実験Ⅱ	2後	4		1	1			2	
心理学統計法ⅠB	2前	2							兼1
心理学統計法Ⅱ	2後	2							兼1
論文講読基礎演習	2前	2						3	
英語論文講読演習	2後	2						1	兼2

	キャリア研究	2後	2				0	1												兼1	
	心理学研究法 I	3前	2				1	1													
	心理学研究法 II	3後	2				1	1													
選択必修科目	知覚・認知心理学	3・4前	2																	兼1	
	感情・人格心理学	3・4後	2																	兼1	
	社会・集団・家族心理学	3・4前	2																	兼1	
	臨床心理学	3・4後	2																	兼1	
	教育・学校心理学	3・4後	2																	兼1	
	発達心理学特講A	3・4前	2																	兼1	
	発達心理学特講B	3・4後	2																	兼1	
	発達心理学特講C	3・4前	2																	兼1	
	発達心理学特講D	3・4後	2																	兼1	
	精神疾患とその治療	3・4前	2					1													
	障害者・障害児心理学	3・4後	2					1													
	臨床心理学特講A	3・4前	2																	兼1	
	臨床心理学特講B	3・4後	2																	兼1	
	演習科目	発達心理学演習A	3・4後	2				1													
		発達心理学演習B	3・4後	2				1													
		発達心理学演習C	3・4前	2				1													
		発達心理学演習D	3・4前	2					1												
		発達心理学演習E	3・4前	2							1										兼1
		発達心理学演習F	3・4後	2																	兼1
		発達心理学演習G	3・4前	2																	兼1
発達心理学演習H		3・4後	2																	兼2	
発達心理学演習I		3・4前	2																	兼1	
発達心理学演習J		3・4後	2																	兼1	
発達心理学演習K		3・4前	2																	兼1	
発達心理学演習L		3・4後	2																	兼1	
心理的アセスメントA		3・4前	2					1													
心理的アセスメントB		3・4後	2																	兼1	
心理演習		3・4前	2							1											
臨床心理学演習A		3・4後	2					1													
臨床心理学演習B		3・4後	2					1													
選択科目	子ども観察	3・4前	2				1														
	児童文化・民俗と子ども	3・4後	2																	兼1	
	児童文化・子ども社会学	3・4前	2																	兼1	
	児童文化・子ども論	3・4後	2																	兼1	
	公認心理師の職責	1前	2					1													
	学習・言語心理学	3・4																			
	神経・生理心理学	3・4					2														
	心理学的支援法	3・4					2														
	健康・医療心理学	1前	2					1													
	福祉心理学	1後	2																	兼1	
	司法・犯罪心理学	2																			
	産業・組織心理学	2																			
	人体の構造と機能及び疾病	1後	2					1													
	関係行政論	2																			
	心理実習	2																			
卒業論文	4通	8					6	2													

選択必修科目	特講科目	認知心理学	3・4前	2						兼1	
	パーソナリティ心理学	3・4後	2							兼1	
	社会心理学	3・4前	2							兼1	
	臨床心理学	3・4後	2							兼1	
	教育心理学	3・4後	2							兼1	
	発達心理学特講A	3・4前	2							兼1	
	発達心理学特講B	3・4後	2							兼1	
	発達心理学特講C	3・4前	2							兼1	
	発達心理学特講D	3・4後	2							兼1	
	精神医学特講	3・4前	2	1							
	発達障害特講	3・4後	2	1							
	発達臨床心理学特講A	3・4前	2							兼1	
	発達臨床心理学特講B	3・4後	2							兼1	
	演習科目	発達心理学演習A	3・4後	2	1						
		発達心理学演習B	3・4後	2	1						
		発達心理学演習C	3・4前	2	1						
		発達心理学演習D	3・4前	2		1					
		発達心理学演習E	3・4前	2							兼1
		発達心理学演習F	3・4後	2							兼1
		発達心理学演習G	3・4前	2							兼1
発達心理学演習H		3・4後	2							兼2	
発達心理学演習I		3・4前	2							兼1	
発達心理学演習J		3・4後	2							兼1	
発達心理学演習K		3・4前	2							兼1	
発達心理学演習L		3・4後	2							兼1	
心理検査法A		3・4前	2	1							
心理検査法B		3・4後	2							兼1	
臨床心理学演習A	3・4前	2		1							
臨床心理学演習B	3・4後	2	1								
臨床心理学演習C	3・4後	2	1								
選択科目	子ども観察	3・4前	2	1							
	児童文化・民俗と子ども	3・4後	2							兼1	
	児童文化・子ども社会学	3・4前	2							兼1	
	児童文化・子ども論	3・4後	2							兼1	
卒業論文	4通	8			6	2					

外国語科目	必修	環境心理学	2・3・4後	4							兼1
		コミュニティ心理学	2・3・4後	4							兼1
		現代心理学概論	1・2・3・4後	4							兼1
		バブリックリテラシー	1前	2							兼8
		情報リテラシー	1後	2							兼8
		ビジネス・コンピュータスキル	2・3・4通	4							兼1
		メディア・デザインスキルA	2・3・4後	2							兼1
		メディア・デザインスキルB	2・3・4前	2							兼1
		アトリエ・プラン・ワークショップ	2・3・4前	4							兼2
		スポーツ・健康科学A	1・2・3・4通	2							兼1
		スポーツ・健康科学B	1・2・3・4通	2							兼3
		スポーツ・健康科学C	1・2・3・4通	2							兼3
		身体運動科学	1・2・3・4通	4							兼1
		教養総合セミナーA	1・2・3・4通	2							兼1
	教養総合セミナーB	1・2・3・4通	2							兼1	
	教養総合セミナーC	1・2・3・4通	2							兼2	
	教養総合セミナーD	1・2・3・4通	2							兼1	
	教養総合セミナーE	1・2・3・4通	2							兼2	
	教養総合セミナーF	1・2・3・4通	2							兼1	
	数と形の世界A	1・2・3・4通	2							兼1	
	数と形の世界B	1・2・3・4通	2							兼1	
	自然科学の世界A	1・2・3・4通	2							兼1	
	自然科学の世界B	1・2・3・4通	2							兼1	
	社会と倫理	1・2・3・4通	2							兼1	
	選択	総合英語 I	1前	1							兼14
		総合英語 II	1後	1							兼14
		総合英語 III	2前	1							兼14
		総合英語 IV	2後	1							兼14
英語コミュニケーション I		1前	1							兼14	
英語コミュニケーション II		1後	1							兼14	
英語コミュニケーション III		2前	1							兼14	
英語コミュニケーション IV		2後	1							兼14	
英語読法A(未開講)		1通	2								
上級総合英語 I		3・4前	1							兼1	
上級総合英語 II		3・4後	1							兼1	
上級英語コミュニケーション I		3・4前	1							兼2	
上級英語コミュニケーション II		3・4後	1							兼2	
English for JFL Teachers I		3通	2							兼1	
English for JFL Teachers II	4通	2							兼1		
初級フランス語	2・3・4通	2							兼1		
フランス語入門	1・2・3・4通	2							兼1		
フランス語 I (文法・講読)	1通	2							兼3		
フランス語 II (文法・講読)	2通	2							兼3		
フランス語 I (会話)	1通	2							兼3		
フランス語 II (会話)	2通	2							兼3		
ドイツ語 I A	1通	2							兼2		
ドイツ語 II A	2通	2							兼2		
ドイツ語 I B	1通	2							兼2		
ドイツ語 II B	2通	2							兼2		
中国語(初級)	1・2・3・4通	4							兼1		
中国語(中級)A	2・3・4通	2							兼1		
中国語(中級)B	2・3・4通	2							兼1		
韓国語(初級)	1・2・3・4通	4							兼1		
韓国語(中級)A	2・3・4通	2							兼1		
韓国語(中級)B	2・3・4通	2							兼1		
学部共通科目	子どものイメージ	1前	2							兼1	
	子どもとファンタジー	1後	2							兼1	
	子育て支援論	1前	2	1							
	発達と文化	1後	2	1							
	学校と発達	1前	2							兼1	
	家庭の教育・地域の教育	1後	2							兼1	
	専門科目	必修科目	心理学概論A	1前	2			1			
			心理学概論B	1後	2			1			
			発達心理学基礎演習A	1前	2			2	1		
			発達心理学基礎演習B	1後	2			2	1		
			心理統計学 I A	1後	2						兼1
			臨床心理学概論	1後	2			1	1		
			発達心理学概論A	2前	2				1		
			発達心理学概論B	2後	2			1			
発達臨床心理学概論			2前	2			1				
心理学実験観察演習 I			2前	4			2	1	1		
心理学実験観察演習 II			2後	4			1	1	2		
心理統計学 I B			2前	2						兼1	
心理統計学 II			2後	2						兼1	
論文講読基礎演習			2前	2					3		
英語論文講読演習	2後	2					1	兼2			
キャリア研究	2後	2			2			兼1			
心理学研究法演習 I	3前	2			2	1					
心理学研究法演習 II	3後	2			2	1					
選択必修科目	特講科目	認知心理学	3・4前	2						兼1	
		パーソナリティ心理学	3・4後	2						兼1	
		社会心理学	3・4前	2						兼1	
		臨床心理学	3・4後	2						兼1	
		教育心理学	3・4後	2						兼1	
		発達心理学特講A	3・4前	2						兼1	
		発達心理学特講B	3・4後	2						兼1	
		発達心理学特講C	3・4前	2						兼1	
		発達心理学特講D	3・4後	2						兼1	
		精神医学特講	3・4前	2	1						
		発達障害特講	3・4後	2	1						
		発達臨床心理学特講A	3・4前	2						兼1	
		発達臨床心理学特講B	3・4後	2						兼1	

演習科目	発達心理学演習A	3・4後	2		1					
	発達心理学演習B	3・4後	2		1					
	発達心理学演習C	3・4前	2		1					
	発達心理学演習D	3・4前	2			1				
	発達心理学演習E	3・4前	2							兼1
	発達心理学演習F	3・4後	2							兼1
	発達心理学演習G	3・4前	2							兼1
	発達心理学演習H	3・4後	2							兼2
	発達心理学演習I	3・4前	2							兼1
	発達心理学演習J	3・4後	2							兼1
	発達心理学演習K	3・4前	2							兼1
	発達心理学演習L	3・4後	2							兼1
	心理検査法A	3・4前	2		1					
	心理検査法B	3・4後	2							兼1
	臨床心理学演習A	3・4前	2			1				
臨床心理学演習B	3・4後	2		1						
臨床心理学演習C	3・4後	2		1						
選択科目	子ども観察	3・4前	2		1					
	児童文化・民俗と子ども	3・4後	2							兼1
	児童文化・子ども社会学	3・4前	2							兼1
	児童文化・子ども論	3・4後	2							兼1
卒業論文	4通	8			6	2				

- (注)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成28年度】

・カリキュラム編成上の理由により「現代思想Ⅰ」、「コミュニケーションのための日本語」、「法とは何か」、「犯罪学概論」、「社会活動におけるマネジメントB」、「教養としての日本語」、「美しい日本語を話す(基礎)」、「美しい日本語を話す(実践)」、「食農フィールド演習」の配当年次を変更。
 ・学長交代に伴い「住居と人間」を追加。

【平成29年度】

・通年科目の平期化のため「キリスト教学Ⅰ・Ⅱ」を「キリスト教学ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB」に、「宗教学Ⅰ・Ⅱ」を「宗教学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」に、「哲学」を「哲学Ⅰ・Ⅱ」に、「美術史」を「美術史Ⅰ・Ⅱ」に分割して配当年次を変更。
 ・カリキュラム編成上の理由により「中国語(中級)」を「中国語(中級)A・B」に、「韓国語(中級)」を「韓国語(中級)A・B」に科目を分割。
 ・教育の充実を図るため「宗教学ⅠA、ⅠM、ⅠO、ⅠU、ⅠV、ⅠW」、「祈りと女性演習A・B」、「家族社会学」、「ワークライフ論」、「女性と文学」、「女性と人権」、「はじめての心理学」、「環境心理学」、「コミュニティ心理学」を追加。
 ・カリキュラム編成上の理由により「教養としての日本語」、「美しい日本語を話す(基礎)」、「国際協力論B」、「メディア・デザインスキルA」、「教養総合セミナーA」、「数と形の世界A」、「数と形の世界B」の配当年次を変更。
 ・単位数の見直しに伴い「ボランティア・キャリア体験」を4単位から2単位に変更。

【平成30年度】

・「神話学入門Ⅰ・Ⅱ」を「文化人類学Ⅰ・Ⅱ」に、「日本の外交と社会史」を「日本史概説Ⅰ・Ⅱ」に、「コミュニティ心理学」を「コミュニティの心理学」に、「教養総合セミナーA」を「ジェンダー基礎論」に、「教養総合セミナーD」を「歴史の中の音楽」に名称変更。
 ・「身体運動科学」を「身体運動の科学」に変更し、4単位から3単位に変更。
 ・「教養総合セミナーC・E」を統合して「サウンドスケイプ演習」に変更。
 ・公認心理師科目対応のため20科目において科目名の変更。
 「心理統計学ⅠA」→「心理学統計法ⅠA」、「心理学実験観察演習Ⅰ」→「心理学実験Ⅰ」、「心理学実験観察演習Ⅱ」→「心理学実験Ⅱ」、「心理統計学ⅠB」→「心理学統計法Ⅰ」、「心理統計学Ⅱ」→「心理学統計法Ⅱ」、「心理学研究法演習Ⅰ」→「心理学研究法Ⅰ」、「心理学研究法演習Ⅱ」→「心理学研究法Ⅱ」、「認知心理学」→「知覚・認知心理学」、「パーソナリティ心理学」→「感情・人格心理学」、「社会心理学」→「社会・集団・家族心理学」、「教育心理学」→「教育・学校心理学」、「精神医学特講」→「精神疾患とその治療」、「発達障害特講」→「障害者・障害児心理学」、「発達臨床心理学特講A」→「臨床心理学特講A」、「発達臨床心理学特講B」→「臨床心理学特講B」、「心理検査法A」→「心理学的アセスメントA」、「心理検査法B」→「心理学的アセスメントB」、「臨床心理学演習A」→「臨床心理学演習A」、「臨床心理学演習B」→「臨床心理学演習A」、「臨床心理学演習C」→「臨床心理学演習B」
 ・公認心理師科目対応のため11科目の追加。
 「公認心理師の職責」、「学習・言語心理学」、「神経・生理心理学」、「心理学的支援法」、「健康・医療心理学」、「福祉心理学」、「司法・犯罪心理学」、「産業・組織心理学」、「人体の構造と機能及び疾病」、「関係行政論」、「心理実習」
 ・担当者1名は研究期間中、担当者1名は新規科目を担当するため、「キャリア研究」の専任教員等の配置を「教授2」から「准教授1」に変更。
 ・担当者1名が研究期間中のため「発達心理学基礎演習A」「発達心理学基礎演習B」の専任教員等の配置を「教授2・准教授1」から「教授1・准教授1」に、「心理学研究法Ⅰ・Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2・准教授1」から「教授1・准教授1」に変更。

- (注) ・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
32 科目	180 科目	0 科目	212 科目	34 科目 [2]	271 科目 [91]	0 科目 [0]	305 科目 [93]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	ルカ福音書講読演習A	2	2・3・4前	一般	選択	担当者学長就任、後任未定のため未開講、代替措置なし。
2	ルカ福音書講読演習B	2	2・3・4後	一般	選択	担当者学長就任、後任未定のため未開講、代替措置なし。
3	女性と社会A	4	1・2・3・4通	一般	選択	科目新設に伴う科目調整のため未開講。代替措置なし。
4	社会福祉と私たち	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当者未定。代替措置なし。
5	児童と家庭の福祉	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当者の担当コマ数上限を超えるため未開講、代替措置なし。
6	住居と人間	4	1・2・3・4通	一般	選択	担当者の担当コマ数上限を超えるため未開講、代替措置なし。
7	食農フィールド演習	4	1・2・3・4通	一般	選択	担当者の担当コマ数上限を超えるため未開講、代替措置なし。
8	教養総合セミナーB	2	1・2・3・4前後	一般	選択	担当者の担当コマ数上限を超えるため未開講、代替措置なし。
9	教養総合セミナーD	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当者未定。代替措置なし。
10	教養総合セミナーE	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当者の担当コマ数上限を超えるため未開講、代替措置なし。
11	教養総合セミナーF	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当者の担当コマ数上限を超えるため未開講、代替措置なし。
12	男女共同参画と政策	4	1・2・3・4通	一般	選択	担当者未定。代替措置なし。
13	子どもの権利と国際社会	4	1・2・3・4通	一般	選択	担当者未定。代替措置なし。
14	環境心理学	4	2・3・4通	一般	選択	担当者の担当コマ数上限を超えるため未開講、代替措置なし。
15	英講読文法A	2	1通	一般	必修	外国語科目見直しのため未開講。「総合英語」で代替。
16	上級総合英語Ⅰ	1	3・4前	一般	選択	外国語科目見直しのため未開講。「上級英語コミュニケーションⅠ」(選択)で代替。
17	上級総合英語Ⅱ	1	3・4後	一般	選択	外国語科目見直しのため未開講。「上級英語コミュニケーションⅡ」(選択)で代替。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

一般教養科目については選択科目であり、他に多くの一般教養科目が設置されていることから、学生の履修については他の科目で補うことができる。「英講読文法A」は外国語必修科目「総合英語Ⅰ/Ⅱ」に対する英語未修者用科目であるが、「総合英語」で未修者対応が可能であることから未開講としている。「上級総合英語Ⅰ・Ⅱ」は、近年における当該科目履修者数の減少を考慮し、当面は同レベルの「上級英語コミュニケーション」のみで学生からの需要に応えるには充分であると判断した。学生には履修要覧に記載することで周知した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{17}{212} = \boxed{8.01} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	43,077㎡	0㎡	0㎡	43,077㎡			
	運動場用地	10,943㎡	0㎡	0㎡	10,943㎡			
	小 計	54,020㎡	0㎡	0㎡	54,020㎡			
	そ の 他	1,270㎡	0㎡	0㎡	1,270㎡			
	合 計	55,290㎡	0㎡	0㎡	55,290㎡			
(2) 校 舎	専 用	28,212㎡	0㎡	0㎡	28,212㎡			
	(28,212㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(28,212㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室		演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体	
	38室 39室		19室 15室	8室 10室	4室 (補助職員 2人)	3室 (補助職員 0人)	授業の開講数の適正化 により室数の変更 (30)	
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	人間総合学部			29 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分 図書 322,151 [109,025] (296,364 [110,431]) (292,306 [109,223]) (291,013 [105,719]) (296,036 [105,301]) 学術雑誌 5,756 [918] (4,405 [937]) (4,386 [934]) (4,457 [952]) (4,278 [894]) 洋雑誌費高騰の影響による (30) 廃刊あるいは洋雑誌費高騰に よる中止などのため (29) 洋雑誌費高騰により図書の購 入に影響が出たため (28)
	人間総合学部	34,704 [7,914] (25,689 [7,548]) (23,132 [6,740]) (22,115 [6,597]) (23,644 [6,666])	171 [63] (166 [56]) (159 [57]) (154 [54]) (123 [39])	46 [36] (31 [21]) (30 [20])	780 (148) (140) (113) (156)	91 (76)	0 (0)	
	計	34,704 [7,914] (25,689 [7,548]) (23,132 [6,740]) (23,644 [6,666])	171 [63] (166 [56]) (159 [57]) (154 [54]) (123 [39])	46 [36] (31 [21]) (30 [20])	780 (148) (140) (113) (156)	91 (76)	0 (0)	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	3,769㎡	232 217		320,556		館内再配置を行った事 により若干増 (30)		
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	1,547㎡	テニスコート3面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コストを含む）を含む。 実績に基づき設備購入費を変更(30) 28に停止した共同研究の当初予定が見込まれ共同研究費を変更(30) 実績に基づき設備購入費を変更(29) 予定していた共同研究が停止したため共同研究費を変更(28) 2015年度実績に基づき図書購入費を変更(28) 見込んでいた工事が完了したため設備購入費を変更(28)
	教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	18,000千円 21,000千円	21,000千円 28,000千円	21,000千円 28,000千円	
	共同研究費等	3,900千円 3,000千円 4,000千円	3,900千円 3,000千円 4,000千円	設備購入費	34,600千円 37,000千円	4,126千円 8,450千円 10,000千円 24,000千円	4,500千円 8,450千円 10,000千円 24,000千円	
	学生1人当り納付金	第1年次 1,450千円	第2年次 1,100千円	第3年次 1,100千円	第4年次 1,100千円	第5年次 -	第6年次 -	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常費補助金、資金運用収入、寄付金、雑収入等						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学 の 名 称	白百合女子大学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
文学部									
国語国文学科	4	100	-	400	学士 (文学)	1.14	昭和40年度	同上	
フランス語フランス文学科	4	100	-	400	学士 (文学)	1.22	昭和40年度	同上	
英語英文学科	4	100	-	400	学士 (文学)	1.15	昭和40年度	同上	
児童文化学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	昭和60年度	同上	平成28年より学生募集停止
人間総合学部									
児童文化学科	4	50	-	150	学士 (児童文化 学)	1.18	平成28年度	東京都調布市緑ヶ丘1丁 目25番地	
発達心理学科	4	50	-	150	学士 (心理学)	1.25	平成28年度	同上	
初等教育学科	4	75	-	225	学士 (教育学)	1.01	平成28年度	同上	
文学研究科									
修士課程・博士課程（前期）									
発達心理学専攻	2	10	-	20	修士 (心理学)	0.75	平成2年度	同上	
児童文学専攻	2	6	-	12	修士 (文学)	0.83	平成2年度	同上	
国語国文学専攻	2	6	-	12	修士 (文学)	0.49	平成6年度	同上	
フランス語フランス文学専攻	2	6	-	12	修士 (文学)	0.49	平成6年度	同上	
英語英文学専攻	2	6	-	12	修士 (文学)	0.08	平成7年度	同上	
博士課程（後期）									
発達心理学専攻	3	4	-	12	博士 (心理学)	0.33	平成4年度	同上	
児童文学専攻	3	3	-	9	博士 (文学)	0.55	平成7年度	同上	
言語・文学専攻	3	5	-	15	博士 (文学)	0.20	平成9年度	同上	
大学 の 名 称	仙台白百合女子大学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人間学部									
人間発達学科 子ども発達専攻	4	90	0	360	学士 (人間科 学)	0.65	平成8年度	宮城県仙台市泉区本田町 6番1号	
心理福祉学科	4	70	0	280	学士 (人間科 学)	0.60	平成25年度	同上	

健康栄養学科 管理栄養専攻	4	80	0	320	学士 (人間科 学)	0.93	平成14年度	同上
グローバル・ スタディーズ学科	4	60	0	240	学士 (人間科 学)	0.92	平成25年度	同上

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5. 教育職員の状況

個人情報を含む内容のため、省略します。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (28年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 (発達心理学科)	留意事項 教員組織の年齢構成を適正なものにすべく、将来構想について検討を始めた。	未履行 定年及び定年を超える教員の後任人事について、28年度及び29年度にかけて検討を行う。
設置計画履行状況 調 査 時 (29年2月)	人間総合学部児童文化学科の入学定員超過の改善に努めること。	改善意見 昨年の状況をふまえ、今年度は合格者数を抑えたため、適正な入学者数になった。	履行済
	人間総合学部発達心理学科において、定年規程が定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見 定年規程の趣旨を踏まえつつ教員組織の年齢構成を適切なものにするを具体的に検討している。	未履行 定年及び定年を超える教員の後任人事について検討を継続するとともに、今年度末に退職予定の1名の後任人事を、改善意見を踏まえて実施する予定である。
	同一設置者が設置する既設学部等（仙台白百合女子大学人間学部人間発達学科、心理福祉学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見 報告時の平均入学定員超過率の数値に誤りがあった（単年度の数値を記載）。実際には人間発達学科は0.86倍、心理福祉学科は0.74倍となる。	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (30年2月)	同一設置者が設置する既設学部等（仙台白百合女子大学人間学部心理福祉学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	未履行 入学定員を見直し、70名から65名に削減する。また、特に低迷している推薦入試への挺入れとして、指定校枠の大幅見直しとその周知のための高校向けの広報活動の強化を行う。加えて、年々着実な改善が見られる福祉系資格（介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士）の国家試験合格率のさらなる向上や、新資格（公認心理師）の導入により、教育内容のさらなる充実を図り、その取り組みと成果を学外に発信する予定である。

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<人間総合学部 発達心理学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① 修了要件単位数 専門科目においては78単位の修得が必要 必修科目48単位、選択必修科目18単位以上、選択科目</p>	<p>公認心理師カリキュラムを導入したため、開講科目を11科目（選択科目）を追加した。</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 FD推進委員会（添付：白百合女子大学FD推進委員会規程）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 委員会は月1回、年8～9回定期開催をする。全学的な委員会のため、教員は各学科等を代表する者が参加する。</p> <p>c 委員会の審議事項等 授業改善アンケートの改善と結果の活用について検討を行っている。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業改善のための学生アンケート/専任教員所見票回収/改善点検討 ・ 授業改善のための学生アンケート結果を活用した顕彰制度導入 ・ FDワークショップ ・ よりよい学びのための学生懇話会（学部・大学院）等 <p>b 実施方法 授業改善のための学生アンケートは開講期末（前期科目は前期末、通年科目と後期科目は後期末）に実施。またアンケートの結果を用いて、学生からの評価の高い授業への顕彰制度を2017年度より導入した。FDワークショップについては2017年6/1（木）に大学教育改革の動向に関する学習会と、学生の学びを深める取り組みに関する情報交換会を実施した。よりよい学びのための学生懇話会については学部と大学院を交互に隔年実施している。2017年度は大学院生を対象に授業改善のための学生アンケートをテーマに意見を聞いた。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） 授業改善のための学生アンケートは原則全科目対象としている。FDワークショップについては専任教員は必須参加とし、欠席者には後日ビデオ学習を求めた。100%の参加を達成した。</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 授業改善のための学生アンケートの実施目的のうち、カリキュラム改善のための材料を得ることについては取り組めていないのではないかとこの反省から、アンケートを改良する際には、現在教員個人にのみ通知されている集計結果を、部分的にでもカリキュラム改善のための材料として活用できるものにするための検討を行った。</p>
--

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

年2回（前期末・後期末）実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員および学生に対しては、全体のまとめと問題点を大学HP上にWEB公開している。
また教員には個別に結果を報告している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置3年目にあたり、新入生64名を迎えることができた。オープンキャンパスでの学科紹介の工夫も奏功し、A0入試においても合格倍率が3.5倍となった。また、一般入試においても正規合格者倍率は2.1倍となり、安定的に入学者を確保できた。現状では、一般入試、センター利用入試で今年度想定以上の歩留まりで、定員超過率が1.28だった。また、公認心理師カリキュラムの導入により開講科目は12科目増加した。発達心理学科の特色がより明確になった。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成30年8月1日 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（平成30年8月1日を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・平成38年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (有 ・ 無)

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (平成30年7月1日)

（注）・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

白百合女子大学FD推進委員会規程

(設置)

第1条 本学は、教授法や授業運営などの改善や教育活動にかかる知識・技能・能力の獲得または向上を組織的に支援するためにFD推進委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(任務)

第2条 委員会は、全学のファカルティ・ディベロップメント(以下「FD」という。)活動が持続的に実行されるよう、次に掲げる事項を行うとともに、各年度におけるFD活動の推進機能を併せもつものとする。

- (1) FD活動に向けた諸施策の企画・立案
- (2) FD活動実施の推進
- (3) FD活動の評価
- (4) FD活動に関する情報の収集と提供
- (5) その他、第1条に掲げる設置目的達成のために必要な事項

(構成)

第3条 委員会は、次に掲げる者で構成する。

- (1) 各学科および各教育センターより選出された教員各1名
- (2) 学長が委嘱する教員若干名
- (3) 学長が委嘱する職員若干名
 - 2 委員長は委員の中からの互選とする。
 - 3 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

(部会)

第4条 委員会は、第2条に掲げる事項に関し専門的作業を行うため、部会を置くことができる。

(事務)

第5条 委員会の事務は、教務部教務課が担当する。

(規程の改廃)

第6条 この規程の改廃は、教授会の議を経て、学長が行う。

附則 この規程は、2008年(平成20年)4月1日から施行する。
この規程は、2010年(平成22年)4月1日から施行する。
この規程は、2013年(平成25年)4月1日から施行する。
この規程は、2016年(平成28年)4月1日から施行する。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人白百合学園

(2) 大学名

白百合女子大学

(3) 大学の位置

〒182-8525
東京都調布市緑ヶ丘1丁目25番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(シキイ クミコ) 式井 久美子 (平成13年4月)		
学長	(ヤマノウチ コウタロウ) 山内 宏太郎 (平成19年4月)	(タバタ クニハル) 田畑 邦治 (平成28年4月)	任期満了により変更(28)
学部長	(ミヤシタ タカヒロ) 宮下 孝広 (平成28年4月)		
学科長等	(ミヤシタ タカヒロ) 宮下 孝広 (平成28年4月)	(タカハシ タカシ) 高橋 貴志 (平成30年4月)	学科長交替により変更(30)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人間総合学部 初等教育学科 学士(教育学)	教育学・保育学関係	年 4	人 75	年次 人 -	人 300	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 75 (-) [-]	人 () []	人 75 (-) [-]	人 () []	人 75 (-) [-]	人 () []	1.01倍	
志願者数	() []	() []	286 (-) [-]	- (-) [-]	302 (-) [-]	- (-) [-]	326 (2) [-]	- (-) [-]		
受験者数	() []	() []	273 (-) [-]	- (-) [-]	292 (-) [-]	- (-) [-]	311 (2) [-]	- (-) [-]		
合格者数	() []	() []	145 (-) [-]	- (-) [-]	136 (-) [-]	- (-) [-]	148 (1) [-]	- (-) [-]		
B 入学者数	() []	() []	77 (-) [-]	- (-) [-]	76 (-) [-]	- (-) [-]	75 (1) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A			1.02		1.01		1.00			

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	77 [-] (-)	- [-] (-)	76 [-] (-)	- [-] (-)	75 [-] (-)	- [-] (-)	30年度3年次編入1名
2年次	/		[] ()	[] ()	77 [-] (-)	- [-] (-)	76 [-] (-)	- [-] (-)	
3年次			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	75 [-] (-)	- [-] (-)	
4年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計					[] ()	[-] (-)	[-] (-)	77 [-] (-)	

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	- 人	- 人	平成27年度	- 人	- 人	
平成28年度	77 人	0 人	平成27年度	- 人	- 人	
			平成28年度	0 人	0 人	
平成29年度	153 人	3 人	平成27年度	- 人	- 人	
			平成28年度	3 人	0 人	他の教育機関への入学(1名)、家庭の事情(1名)、除籍(1名)
			平成29年度	0 人	0 人	
平成30年度	226 人	0 人	平成27年度	- 人	- 人	
			平成28年度	0 人	0 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
合計	456 人	3 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{77} = \boxed{0} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{153} = \boxed{1.96} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{226} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

目	おもちゃ論A	1・2・3・4後	2								兼1
	絵本論	1・2・3・4後	2								兼1
	心理学概論A	1前	2								兼1
	心理学概論B	1後	2								兼1
	臨床心理学	3・4後	2								兼1
	発達心理学概論A	2前	2								兼1
	発達心理学概論B	2後	2								兼1
	発達臨床心理学概論	2前	2								兼1
	発達障害特講	3・4後	2								兼1
	卒業研究	4通	4		5	4	2	0	0	0	

コア ス 共 通 科 目	音楽演習(合唱)	2・3・4	2								兼1
	図画工作演習(造形・描画)	2・3・4後	2					1			
	体育演習(水泳)	2・3前	2								兼3
	体育演習(体づくり・器械運動)	2・3	2								兼1
	言語表現	1後	2					1			
	教育原理	1前	2								兼2
	教育心理学	1後	2					1			
	教育の制度と経営(幼・小)	1	2								兼1
	教育方法	2後	2					1			兼1
	教育実習(幼・小)	3通 3後~ 4前		4				4	1		
教育実習(幼・小)事前事後指導	3通		1				3		1		
児 童 教 育 コ ア ス 科 目	教職論	1前	2					1			
	教育課程論	2前	2					4			兼1
	初等国語科指導法	1後	2					1			
	初等社会科指導法	2前	2					2			
	初等算数科指導法	1後	2						1		
	初等理科指導法	2前	2						1		
	初等生活科指導法	1後	2					2			
	初等音楽科指導法	2前	2								兼1
	初等図画工作科指導法	2前	2								兼1
	初等家庭科指導法	2前	2								兼1
初等体育科指導法	2前	2								兼1	
道徳教育	1後	2								兼1	
特別活動	2前	2					1				
生徒指導・進路指導	2後	2					2			兼1	
教育相談(小)	3	2								兼1	
教職実践演習(小)	4後		2				3				
教 科 又 は 教 職 に 関 す る 科 目	教育体験 I	1後		1				1			
	教育体験 II A	2前	1					2			
	教育体験 II B	2後	1					2			
	教育体験 III A	3前		1				1			
	教育体験 III B	3後		1				1			
	総合的な学習の時間	3前		2				1			
	小学校外国語活動 I	3・4前		2							兼1
	小学校外国語活動 II	3・4後		2							兼1
	学級経営論	3・4前		2				1			
	学校経営と学校図書館	3・4前		2							兼1
学校図書館メディアの構成	3・4前		2							兼1	
学習指導と学校図書館	3・4前		2							兼1	
読書と豊かな人間性	3・4後		2							兼1	
情報メディアの活用	3・4前		2							兼1	
幼 児 教 育 コ ア ス 科 目	保育者論	1後	2					1			
	保育課程論	2前	2								兼1
	保育内容総論	2通	4						1		兼1
	保育内容演習(健康)	3後	2						1		
	保育内容演習(人間関係)	3後	2								兼1
	保育内容演習(環境)	3前	2								兼1
	保育内容演習(言葉)	3前	2								兼1
	保育内容演習(表現)	3前	2						1		
	幼児理解	3前	2						1		
	教育相談(幼)	3前	2								兼1
保育・教職実践演習	4後		2				1	2			
保 育 に 関 す る 科 目	保育原理	1前	2					1			
	児童家庭福祉	1前	2					1			
	社会福祉	2後	2								兼1
	相談援助	3前	2					1			
	社会的養護 I	1後	2					1			
	社会的養護 II	3後		2							兼1
	保育の心理学 I	1後	2						1		
	保育の心理学 II	3前	2					1	1		
	子どもの保健 I	1通	4								兼1
	子どもの保健 II	3後	1								兼1
子どもの食と栄養	2前	2								兼1	
家庭支援論	2後	2								兼1	
乳児保育	2前	2								兼1	
障害児保育	3前	2								兼1	
社会的養護内容	4前	2								兼1	
保育相談支援	4	2					1				
保育体験 I	1後		1				1	1	1		
保育体験 II A	2前		1				1	1	1		
保育体験 II B	2後		1					2	1		
保育実習 I	3通		4				2				
保育実習指導 I A	2後		1				2				
保育実習指導 I B	3前		1				2				
保育実習 II	3前		2					1			
保育実習指導 II	3前		1					1			
保育実習 III	4		2				1				
保育実習指導 III	4		1				1				
隣 接 領 域 科 目	介護等体験の事前事後指導	2前	2								兼1
	児童文化・子ども論	2・3・4後	2								兼1
	児童文学・日本C	1・2・3・4前	2								兼1
	児童文学・日本D	1・2・3・4後	2								兼1
	おもちゃ論A	1・2・3・4前	2								兼1
	絵本論	1・2・3・4後	2								兼1
	心理学概論A	1前	2								兼1
心理学概論B	1後	2								兼1	
臨床心理学	3・4前	2								兼1	
発達心理学概論A	2前	2								兼1	

発達心理学概論B	2後		2								兼1
発達臨床心理学概論	2前		2								兼1
障害者・障害児心理学	3・4後		2								兼1
卒業研究	4通	4			5	4	2	0	0	0	

心理学概論A	1前	2								兼1
心理学概論B	1後	2								兼1
臨床心理学	3・4後	2								兼1
発達心理学概論A	2前	2								兼1
発達心理学概論B	2後	2								兼1
発達臨床心理学概論	2前	2								兼1
発達障害特講	3・4後	2								兼1
卒業研究	4通	4		5	4	2	0	0	0	0

教職に関する科目	教育原理	1前	2								兼2
	教育心理学	1後	2			1					
共通科目	教育の制度と経営(幼・小)	1後	2								兼1
	教育方法	1後	2			1					兼1
児童教育コース科目	教育実習(幼・小)	3通 3後~ 4前		4		4	1	1			
	教育実習(幼・小)事前事後指導	3通		1		3		1			
教職に関する科目	教職論	1前	2			1					
	教育課程論	2前	2			4					兼1
教職に関する科目	初等国語科指導法	1後	2			1					
	初等社会科指導法	2前	2			2					
教職に関する科目	初等算数科指導法	1後	2				1				
	初等理科指導法	2前	2				1				
教職に関する科目	初等生活科指導法	1後	2			2					
	初等音楽科指導法	2前後	2								兼1
教職に関する科目	初等図画工作科指導法	2前後	2								兼1
	初等家庭科指導法	2前後	2								兼1
教職に関する科目	初等体育科指導法	2前後	2								兼1
	道徳教育	1後	2								兼1
教職に関する科目	特別活動	2後	2			1					
	生徒指導・進路指導	2後	2			2					兼1
教職に関する科目	教育相談(小)	3前	2								兼1
	教職実践演習(小)	4後		2		3					
教科又は教職に関する科目	教育体験 I	1後		1		1					
	教育体験 II A	2前	1			2					
教科又は教職に関する科目	教育体験 II B	2後	1			2					
	教育体験 III A	3前		1		1					
教科又は教職に関する科目	教育体験 III B	3後		1		1					
	総合的な学習の時間	3・4後	2			1					
教科又は教職に関する科目	小学校外国語活動 I	3・4前	2								兼1
	小学校外国語活動 II	3・4後	2								兼1
教科又は教職に関する科目	学級経営論	3・4前	2			1					
	学校経営と学校図書館	3・4前	2								兼1
教科又は教職に関する科目	学校図書館メディアの構成	3・4前	2								兼1
	学習指導と学校図書館	3・4前	2								兼1
教科又は教職に関する科目	読書と豊かな人間性	3・4後	2								兼1
	情報メディアの活用	3・4前	2								兼1
幼児教育コース科目	保育者論	1後	2			1					
	保育課程論	2前	2								兼1
幼児教育コース科目	保育内容総論	2通	4				1				兼1
	保育内容演習(健康)	3前	2				1				
幼児教育コース科目	保育内容演習(人間関係)	3後	2								兼1
	保育内容演習(環境)	3後	2								兼1
幼児教育コース科目	保育内容演習(言葉)	3後	2								兼1
	保育内容演習(表現)	3前	2				1				
幼児教育コース科目	幼児理解	3前	2				1				
	教育相談(幼)	3前	2								兼1
幼児教育コース科目	保育・教職実践演習	4後		2		1	1	1			
	保育原理	1前	2			1					
保育に関する科目	児童家庭福祉	1前	2			1					
	社会福祉	2後	2								兼1
保育に関する科目	相談援助	3前	2			1					
	社会的養護 I	1後	2			1					
保育に関する科目	社会的養護 II	3前		2							兼1
	保育の心理学 I	1後	2				1				
保育に関する科目	保育の心理学 II	3前	2			1	1				
	子どもの保健 I	1通	4								兼1
保育に関する科目	子どもの保健 II	3後	1								兼1
	子どもの食と栄養	2前	2								兼1
保育に関する科目	家庭支援論	2後	2								兼1
	乳児保育	2前	2								兼1
保育に関する科目	障害児保育	3前	2								兼1
	社会的養護内容	4前	2								兼1
保育に関する科目	保育相談支援	4前	2			1					
	保育体験 I	1後		1		1	1	1			
保育に関する科目	保育体験 II A	2前		1		1		2			
	保育体験 II B	2後		1			1	2			
保育に関する科目	保育実習 I	3通		4		2					
	保育実習指導 I A	2後		1		2					
保育に関する科目	保育実習指導 I B	3前		1		2					
	保育実習 II	3前		2			1				
保育に関する科目	保育実習指導 II	3前		1			1				
	保育実習 III	4前		2		1					
保育に関する科目	保育実習指導 III	4前		1		1					
	介護等体験の事前事後指導	2前		2							兼1
隣接領域科目	児童文化・子ども論	2・3・4後		2							兼1
	児童文学・日本C	1・2・3・4前		2							兼1
隣接領域科目	児童文学・日本D	1・2・3・4前		2							兼1
	おもちゃ論A	1・2・3・4前		2							兼1
隣接領域科目	絵本論	1・2・3・4後		2							兼1
	心理学概論A	1前		2							兼1
隣接領域科目	心理学概論B	1後		2							兼1
	臨床心理学	3・4後		2							兼1
隣接領域科目	発達心理学概論A	2前		2							兼1
	発達心理学概論B	2後		2							兼1
隣接領域科目	発達臨床心理学概論	2前		2							兼1
	発達障害特講	3・4後		2							兼1
卒業研究	4通	4			5	4	2	0	0	0	0

- (注)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成28年度】

- ・カリキュラム編成上の理由により「現代思想Ⅰ」、「コミュニケーションのための日本語」、「法とは何か」、「犯罪学概論」、「社会活動におけるマネジメントB」、「教養としての日本語」、「美しい日本語を話す（基礎）」、「美しい日本語を話す（実践）」、「食農フィールド演習」の配当年次を変更。
- ・学長交代に伴い「住居と人間」を追加。
- ・教職課程認可申請時の指摘に伴い「教育課程論」の教員配置を「教授1」から「兼1」に変更。
- ・教職課程認可申請時の指摘に伴い「生徒指導・進路指導」の配当年次を「3前」から「2後」に、教員配置を「教授1」から「教授2、兼1」に変更。
- ・教職課程認可申請時の指摘に伴い「教育相談（小）」の配当年次を「2後」から「3前」に、教員配置を「教授1」から「兼1」に変更。
- ・教職課程認可申請時の指摘に伴い「教育相談（幼）」の配当年次を「2後」から「3前」に、教員配置を「教授1」から「兼1」に変更。

【平成29年度】

- ・通年科目の半期化のため「キリスト教学Ⅰ・Ⅱ」を「キリスト教学ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB」に、「宗教学Ⅰ・Ⅱ」を「宗教学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」に、「哲学」を「哲学Ⅰ・Ⅱ」に、「美術史」を「美術史Ⅰ・Ⅱ」に分割して配当年次を変更。
- ・カリキュラム編成上の理由により「中国語（中級）」を「中国語（中級）A・B」に、「韓国語（中級）」を「韓国語（中級）A・B」に科目を分割。
- ・教育の充実を図るため「宗教学ⅠA、ⅠM、ⅠO、ⅠU、ⅠV、ⅠW」、「祈りと女性演習A・B」、「家族社会学」、「ワークライフ論」、「女性と文学」、「女性と人権」、「はじめての心理学」、「環境心理学」、「コミュニティ心理学」を追加。
- ・カリキュラム編成上の理由により「教養としての日本語」、「美しい日本語を話す（基礎）」、「国際協力論B」、「メディア・デザインスキルA」、「教養総合セミナーA」、「数と形の世界A」、「数と形の世界B」の配当年次を変更。
- ・単位数の見直しに伴い「ボランティア・キャリア体験」を4単位から2単位に変更。

【平成30年度】

- ・「神話学入門Ⅰ・Ⅱ」を「文化人類学Ⅰ・Ⅱ」に、「日本の外交と社会史」を「日本史概説Ⅰ・Ⅱ」に、「コミュニティ心理学」を「コミュニティの心理学」に、「教養総合セミナーA」を「ジェンダー基礎論」に、「教養総合セミナーD」を「歴史の中の音楽」に名称変更。
- ・「身体運動科学」を「身体運動の科学」に変更し、4単位から3単位に変更。
- ・「教養総合セミナーC・E」を統合して「サウンドスケイプ演習」に変更。
- ・担当者変更及び職位変更のため、「初等教育基礎演習A」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授3」に変更。
- ・担当者変更のため「初等教育基礎演習B」の専任教員等の配置を「教授4」「准教授2」「講師0」に変更。
- ・担当者変更のため「初等教育演習A」の専任教員等の配置を「教授3」「准教授2」に変更。
- ・担当者変更のため「初等教育演習B」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授3」「講師0」に変更。
- ・職位変更のため「言語表現」の専任教員等の配置を「准教授1」「講師0」に変更。
- ・職位変更のため「保育内容総論」の専任教員等の配置を「准教授1」「講師0」に変更。
- ・職位変更のため「保育・教職実践演習」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授2」「講師0」に変更。
- ・職位変更のため「保育体験ⅡA」の専任教員等の配置を「准教授1」「講師1」に変更。
- ・職位変更のため「保育体験ⅡB」の専任教員等の配置を「准教授2」「講師1」に変更。
- ・公認心理士養成に関するカリキュラム変更に伴い、「発達障害特講」の名称を「障害者・障害児心理学」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
65 科目	202 科目	0 科目	267 科目	67 科目 [2]	282 科目 [80]	0 科目 [0]	349 科目 [82]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	ルカ福音書講読演習 A	2	2・3・4前	一般	選択	担当者学長就任、後任未定のため未開講、代替措置なし。
2	ルカ福音書講読演習 B	2	2・3・4後	一般	選択	担当者学長就任、後任未定のため未開講、代替措置なし。
3	女性と社会 A	4	1・2・3・4通	一般	選択	科目新設に伴う科目調整のため未開講。代替措置なし。
4	社会福祉と私たち	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当者未定。代替措置なし。
5	児童と家庭の福祉	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当者の担当コマ数上限を超えるため未開講、代替措置なし。
6	住居と人間	4	1・2・3・4通	一般	選択	担当者の担当コマ数上限を超えるため未開講、代替措置なし。
7	食農フィールド演習	4	1・2・3・4通	一般	選択	担当者の担当コマ数上限を超えるため未開講、代替措置なし。
8	教養総合セミナー B	2	1・2・3・4前後	一般	選択	担当者の担当コマ数上限を超えるため未開講、代替措置なし。
9	教養総合セミナー D	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当者未定。代替措置なし。
10	教養総合セミナー E	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当者の担当コマ数上限を超えるため未開講、代替措置なし。
11	教養総合セミナー F	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当者の担当コマ数上限を超えるため未開講、代替措置なし。
12	男女共同参画と政策	4	1・2・3・4通	一般	選択	担当者未定。代替措置なし。
13	子どもの権利と国際社会	4	1・2・3・4通	一般	選択	担当者未定。代替措置なし。
14	環境心理学	4	2・3・4通	一般	選択	担当者の担当コマ数上限を超えるため未開講、代替措置なし。
15	英講読文法 A	2	1通	一般	必修	外国語科目見直しのため未開講。「総合英語」で代替。
16	上級総合英語 I	1	3・4前	一般	選択	外国語科目見直しのため未開講。「上級英語コミュニケーション I」(選択)で代替。
17	上級総合英語 II	1	3・4後	一般	選択	外国語科目見直しのため未開講。「上級英語コミュニケーション I」(選択)で代替。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

一般教養科目については選択科目であり、他に多くの一般教養科目が設置されていることから、学生の履修については他の科目で補うことができる。「英講読文法 A」は外国語必修科目「総合英語 I / II」に対する英語未修者用科目であるが、「総合英語」で未修者対応が可能であることから未開講としている。「上級総合英語 I・II」は、近年における当該科目履修者数の減少を考慮し、当面は同レベルの「上級英語コミュニケーション」のみで学生からの需要に応えるには充分であると判断した。学生には履修要覧に記載することで周知した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{17}{267} = \boxed{6.36} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	43,077㎡	0㎡	0㎡	43,077㎡			
	運動場用地	10,943㎡	0㎡	0㎡	10,943㎡			
	小 計	54,020㎡	0㎡	0㎡	54,020㎡			
	そ の 他	1,270㎡	0㎡	0㎡	1,270㎡			
	合 計	55,290㎡	0㎡	0㎡	55,290㎡			
(2) 校 舎	専 用	28,212㎡	0㎡	0㎡	28,212㎡			
	(28,212㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(28,212㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室		演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体	
	38室 39室		19室 15室	8室 10室	4室 (補助職員 2人)	3室 (補助職員 0人)	授業の開講数の適正化により室数の変更(30)	
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	人間総合学部			29 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	大学全体での共用分 図書 322,151 [109,025] (296,364 [110,431]) (292,306 [109,223]) (291,013 [105,719]) (296,036 [105,301]) 学術雑誌 5,756 [918] (4,405 [937]) (4,386 [934]) (4,457 [952]) (4,278 [894]) 洋雑誌費高騰の影響による(30) 廃刊あるいは洋雑誌費高騰による中止などのため(29) 洋雑誌費高騰により図書の購入に影響が出たため(28)
		[うち外国書]冊	[うち外国書]種	電子ジャーナル [うち外国書]				
	人間総合学部	34,704 [7,914] (25,689 [7,548]) (23,132 [6,740]) (22,115 [6,597]) (23,644 [6,666])	171 [63] (166 [56]) (159 [57]) (154 [54]) (123 [39])	46 [36] (31 [21]) (30 [20])	780 (148) (140) (113) (156)	91 (76)	0 (0)	
	計	34,704 [7,914] (25,689 [7,548]) (23,132 [6,740]) (23,644 [6,666])	171 [63] (166 [56]) (159 [57]) (154 [54]) (123 [39])	46 [36] (31 [21]) (30 [20])	780 (148) (140) (156)	91 (76)	0 (0)	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	3,769㎡		232 217		320,556		館内再配置を行った事により若干増(30)	
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
	1,547㎡		テニスコート3面					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コストを含む)を含む。 実績に基づき設備購入費を変更(30) 28に停止した共同研究の当初予定が見込まれ共同研究費を変更(30) 実績に基づき設備購入費を変更(29) 予定していた共同研究が停止したため共同研究費を変更(28) 2015年度実績に基づき図書購入費を変更(28) 見込んでいた工事が完了したため設備購入費を変更(28)
		教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	18,000千円 21,000千円	21,000千円 28,000千円	
	共同研究費等	3,900千円 3,000千円 4,000千円	3,900千円 3,000千円 4,000千円	設備購入費	34,600千円 37,000千円	4,126千円 8,450千円 10,000千円 24,000千円	4,500千円 8,450千円 10,000千円 24,000千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
	1,450千円	1,100千円	1,100千円	1,100千円	-	-		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常費補助金、資金運用収入、寄付金、雑収入等						

(注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学 の 名 称	白百合女子大学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
文学部									
国語国文学科	4	100	-	400	学士 (文学)	1.14	昭和40年度	同上	
フランス語フランス文学科	4	100	-	400	学士 (文学)	1.22	昭和40年度	同上	
英語英文学科	4	100	-	400	学士 (文学)	1.15	昭和40年度	同上	
児童文化学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	昭和60年度	同上	平成28年より学生募集停止
人間総合学部									
児童文化学科	4	50	-	150	学士 (児童文化 学)	1.18	平成28年度	東京都調布市緑ヶ丘1丁 目25番地	
発達心理学科	4	50	-	150	学士 (心理学)	1.25	平成28年度	同上	
初等教育学科	4	75	-	225	学士 (教育学)	1.01	平成28年度	同上	
文学研究科									
修士課程・博士課程（前期）									
発達心理学専攻	2	10	-	20	修士 (心理学)	0.75	平成2年度	同上	
児童文学専攻	2	6	-	12	修士 (文学)	0.83	平成2年度	同上	
国語国文学専攻	2	6	-	12	修士 (文学)	0.49	平成6年度	同上	
フランス語フランス文学専攻	2	6	-	12	修士 (文学)	0.49	平成6年度	同上	
英語英文学専攻	2	6	-	12	修士 (文学)	0.08	平成7年度	同上	
博士課程（後期）									
発達心理学専攻	3	4	-	12	博士 (心理学)	0.33	平成4年度	同上	
児童文学専攻	3	3	-	9	博士 (文学)	0.55	平成7年度	同上	
言語・文学専攻	3	5	-	15	博士 (文学)	0.20	平成9年度	同上	
大学 の 名 称	仙台白百合女子大学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人間学部									
人間発達学科 子ども発達専攻	4	90	0	360	学士 (人間科 学)	0.65	平成8年度	宮城県仙台市泉区本田町 6番1号	
心理福祉学科	4	70	0	280	学士 (人間科 学)	0.60	平成25年度	同上	

健康栄養学科 管理栄養専攻	4	80	0	320	学士 (人間科 学)	0.93	平成14年度	同上
グローバル・ スタディーズ学科	4	60	0	240	学士 (人間科 学)	0.92	平成25年度	同上

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5. 教育職員の状況

個人情報を含む内容のため、省略します。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画		
設 置 時 (28年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 (発達心理学科)	留意事項	教員組織の年齢構成を適正なものにすべく、将来構想について検討を始めた。	未履行	定年及び定年を超える教員の後任人事について、28年度及び29年度にかけて検討を行う。
設置計画履行状況 調 査 時 (29年2月)	人間総合学部児童文化学科の入学定員超過の改善に努めること。	改善意見	昨年の状況をふまえ、今年度は合格者数を抑えたため、適正な入学者数になった。	履行済	
	人間総合学部発達心理学科において、定年規程が定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見	定年規程の趣旨を踏まえつつ教員組織の年齢構成を適切なものにすることを具体的に検討している。	未履行	定年及び定年を超える教員の後任人事について検討を継続するとともに、今年度末に退職予定の1名の後任人事を、改善意見を踏まえて実施する予定である。
	同一設置者が設置する既設学部等（仙台白百合女子大学人間学部人間発達学科、心理福祉学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	報告時の平均入学定員超過率の数値に誤りがあった（単年度の数値を記載）。実際には人間発達学科は0.86倍、心理福祉学科は0.74倍となる。	履行済	
設置計画履行状況 調 査 時 (30年2月)	同一設置者が設置する既設学部等（仙台白百合女子大学人間学部心理福祉学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見		未履行	入学定員を見直し、70名から65名に削減する。また、特に低迷している推薦入試への挺入れとして、指定校枠の大幅見直しとその周知のための高校向けの広報活動の強化を行う。加えて、年々着実な改善が見られる福祉系資格（介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士）の国家試験合格率のさらなる向上や、新資格（公認心理師）の導入により、教育内容のさらなる充実を図り、その取り組みと成果を学外に発信する予定である。

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<人間総合学部 初等教育学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特記事項なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 FD推進委員会（添付：白百合女子大学FD推進委員会規程）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 委員会は月1回、年8～9回定期開催をする。全学的な委員会のため、教員は各学科等を代表する者が参加する。</p> <p>c 委員会の審議事項等 授業改善アンケートの改善と結果の活用について検討を行っている。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業改善のための学生アンケート/専任教員所見票回収/改善点検討 ・ 授業改善のための学生アンケート結果を活用した顕彰制度導入 ・ FDワークショップ ・ よりよい学びのための学生懇話会（学部・大学院）等 <p>b 実施方法 授業改善のための学生アンケートは開講期末（前期科目は前期末、通年科目と後期科目は後期末）に実施。またアンケートの結果を用いて、学生からの評価の高い授業への顕彰制度を2017年度より導入した。FDワークショップについては2017年6/1（木）に大学教育改革の動向に関する学習会と、学生の学びを深める取り組みに関する情報交換会を実施した。よりよい学びのための学生懇話会については学部と大学院を交互に隔年実施している。2017年度は大学院生を対象に授業改善のための学生アンケートをテーマに意見を聞いた。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） 授業改善のための学生アンケートは原則全科目対象としている。FDワークショップについては専任教員は必須参加とし、欠席者には後日ビデオ学習を求めた。100%の参加を達成した。</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 授業改善のための学生アンケートの実施目的のうち、カリキュラム改善のための材料を得ることについては取り組めていないのではないかという反省から、アンケートを改良する際には、現在教員個人にのみ通知されている集計結果を、部分的にでもカリキュラム改善のための材料として活用できるものにするための検討を行った。</p>
--

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

年2回（前期末・後期末）実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員および学生に対しては、全体のまとめと問題点を大学HP上にWEB公開している。
また教員には個別に結果を報告している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置第3年次にあたり、新入生75名（内、幼児教育コース47名、児童教育コース28名）を迎えることができた。一般入試の正規合格者倍率2.1倍をはじめ、前年度同様いずれの入試枠でも安定的に受験生を確保することができた。また、3年次編入生が1名加わった。1年次から開始されている教育体験および保育体験において、教育、保育の実際にかかわることを通じて、学生が学内での学びと関連させて理解を深めていることが、各科目で行われた授業アンケートの結果から知ることができる。理論と実践の往還関係の中で学生の学びを支える環境を提供することを目指していた本学科にとって、当初の目的が現時点で一定程度達成できていると考えられる。また、学生生活における学生間の交流も深まりを見せ、授業以外の場で下級生が上級生から助言指導を受け、学習意欲を高める様子も確認できる。2年次から開始された、基礎演習において学生は、1年次の各科目の学修から得た知識や技術を基盤とし、演習形式でお互いの意見を交わし、学んだ知識について改めて問い直し、他者の考えも受け入れながら、自らの考えを構築していた。さらに、研究活動においては、専任教員が所属する「日本児童養護実践学会」の2017年度の年次大会開催校となり、地域社会への学問的知見の還元のみならず学生への学修の機会としても有益であった。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成30年8月1日 公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定（平成30年8月1日を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成38年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無

(有 ・ 無)

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期

(平成30年7月1日)

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

白百合女子大学FD推進委員会規程

(設置)

第1条 本学は、教授法や授業運営などの改善や教育活動にかかる知識・技能・能力の獲得または向上を組織的に支援するためにFD推進委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(任務)

第2条 委員会は、全学のファカルティ・ディベロップメント(以下「FD」という。)活動が持続的に実行されるよう、次に掲げる事項を行うとともに、各年度におけるFD活動の推進機能を併せもつものとする。

- (1) FD活動に向けた諸施策の企画・立案
- (2) FD活動実施の推進
- (3) FD活動の評価
- (4) FD活動に関する情報の収集と提供
- (5) その他、第1条に掲げる設置目的達成のために必要な事項

(構成)

第3条 委員会は、次に掲げる者で構成する。

- (1) 各学科および各教育センターより選出された教員各1名
- (2) 学長が委嘱する教員若干名
- (3) 学長が委嘱する職員若干名
 - 2 委員長は委員の中からの互選とする。
 - 3 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

(部会)

第4条 委員会は、第2条に掲げる事項に関し専門的作業を行うため、部会を置くことができる。

(事務)

第5条 委員会の事務は、教務部教務課が担当する。

(規程の改廃)

第6条 この規程の改廃は、教授会の議を経て、学長が行う。

附則 この規程は、2008年(平成20年)4月1日から施行する。
この規程は、2010年(平成22年)4月1日から施行する。
この規程は、2013年(平成25年)4月1日から施行する。
この規程は、2016年(平成28年)4月1日から施行する。